

## 安全データシート

 $\alpha$ -ヘキシルシナナムアルデヒド

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: $\alpha$ -ヘキシルシナナムアルデヒド
CB番号	: CB2154127
CAS	: 101-86-0
EINECS番号	: 202-983-3
同義語	: $\alpha$ -ヘキシルシナナムアルデヒド, ヘキシルシナナムアルデヒド

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 香料(ジャスミン, チュベローズなど花香の調合) (NITE CHRIP)
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日(物化危険性及び健康有害性)

GHS改訂4版を使用

H29.3.1、政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改定版 (ver1.1): JIS Z7252:2014準拠) を使用

## 物理化学的危険性

## 健康に対する有害性

皮膚感作性 区分1

皮膚腐食性/刺激性 区分2

## 分類実施日(環境有害性)

政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改定版 (ver1.1): JIS Z7252:2014準拠) を使用

## 環境に対する有害性

水生環境有害性(長期間) 分類未実施

水生環境有害性(急性) 分類未実施

## 2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

絵表示

GHS07	GHS09
-------	-------

#### 注意喚起語

警告

#### 危険有害性情報

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

H400 水生生物に非常に強い毒性。

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

#### 注意書き

#### 安全対策

P280 保護手袋を着用すること。

P273 環境への放出を避けること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P261 ミスト/蒸気の吸入を避けること。

#### 応急措置

P391 漏出物を回収すること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

#### 廃棄

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学特性(示性式、構造式 等)	: C <sub>15</sub> H <sub>20</sub> O
分子量	: 216.32 g/mol
CAS番号	: 101-86-0
EC番号	: 202-983-3
化審法官報公示番号	: 3-2657
安衛法官報公示番号	: -

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。医師に相談する。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯)医師に相談する。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

#### 使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

#### 適切な消火剤

水泡 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 粉末

### 5.2 特有の危険有害性

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。

可燃性。

炭素酸化物

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと(セクション7、10参照) 液体吸収剤(例: Chemisorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

### 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

### 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管クラス

保管クラス(ドイツ)(TRGS 510): 10: 可燃性液体

保管条件

密閉のこと。保管安定性推奨された保管温度2 - 8 °C不活性ガス下に貯蔵する。

### 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

TWA: 2 mg/m<sup>3</sup> - 米国。ACGIH限界閾値(TLV)

### 8.2 曝露防止

適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

保護具

眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の

保護具を使用する。保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

要

身体の保護

保護衣

呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

形状	液体 (20℃、1気圧) (GHS判定)
色	淡黄色 (化学商品 (2014))
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	データなし
データなし	
データなし	
データなし	
Log P: 4.82 (EST) (SRC (2016))	
水:2.75 mg/L (25℃) (EST) (SRC (2016))	プロピレングリコール、グリセリン:不溶 (化学商品 (2014))
アルコール:可溶 (化学商品 (2014))	
0.956~0.961 (20/20℃) (化学商品 (2014))	
データなし	
0.000478 mmHg (25℃, 推定値) [換算値 0.0637 Pa (25℃, 推定値)] (SRC (2016))	
データなし	
データなし	
データなし	
166℃(クリーブランド開放式) (化学商品 (2014))	
175.05℃ (at 15 mmHg) (SRC (2016))	
39.2℃ (SRC (2016))	
融点・凝固点	
39.2℃ (SRC (2016))	
沸点、初留点及び沸騰範囲	
175.05℃ (at 15 mmHg) (SRC (2016))	
引火点	
166℃(クリーブランド開放式) (化学商品 (2014))	
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	
データなし	
燃焼性(固体、気体)	
データなし	

## 燃焼又は爆発範囲

データなし

## 蒸気圧

0.000478 mmHg (25℃, 推定値) [換算値 0.0637 Pa (25℃, 推定値)] (SRC (2016))

## 蒸気密度

データなし

## 比重(相対密度)

0.956~0.961 (20/20℃) (化学商品 (2014))

## 溶解度

水:2.75 mg/L (25℃) (EST) (SRC (2016)) プロピレングリコール、グリセリン:不溶 (化学商品 (2014)) アルコール:可溶 (化学商品 (2014))

## n-オクタノール/水分配係数

Log P: 4.82 (EST) (SRC (2016))

## 自然発火温度

データなし

## 分解温度

データなし

## 粘度(粘性率)

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

### 10.2 化学的安定性

2,6 - ジ(tert - ブチル) - p - クレゾール ( $\geq 0.075$  -  $\leq 0.15$  %)

以下の安定剤が含まれている:

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

強塩基類

強酸化剤

次と激しく反応

### 10.4 避けるべき条件

強力な熱

## 10.5 混触危険物質

データなし

## 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

# 11. 有害性情報

## 急性毒性

### 経口

GHS分類: 区分外 ラットのLD50値として、3,100 mg/kg (ChemID (Access on January 2017)) との報告に基づき、区分外 (国連分類基準の区分5) とした。

### 経皮

GHS分類: 区分外 ウサギのLD50値として、> 3,000 mg/kg (RTECS (Access on January 2017)) との報告に基づき、区分外とした。

### 吸入:ガス

GHS分類: 分類対象外 GHSの定義における液体である。

### 吸入:蒸気

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

### 吸入:粉じん及びミスト

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

## 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

GHS分類: 区分2 ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験 (OECD TG 404、3試験) では、適用24~72時間後に紅斑 (グレード1~2) と浮腫 (グレード1~3) が観察され、7日後に落屑が認められた。3試験の一次刺激率 (PII) は、4.0、4.0及び2.58であった (ECETOC TR66 (1995)) ことから、区分2とした。

## 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

## 呼吸器感作性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

## 皮膚感作性

GHS分類: 区分1 モルモットの皮膚感作性試験 (マキシマイゼーション法、ビューラー法) 及びマウスの局所リンパ節試験 (LLNA法) において、いずれも陽性であり、また、本物質はヒトパッチテストにおいて診断のための陽性対照物質として用いられており、本物質はヒト及び動物に対して皮膚感作性を有すると結論されていることから (ECETOC TR 77 (1999))、区分1とした。

## 生殖細胞変異原性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

## 発がん性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

## 生殖毒性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

## 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

## 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

GHS分類: 分類できない ヒトに関する情報はない。実験動物については、ラットを用いた経皮適用による90日間反復投与毒性試験において、区分2相当の125 mg/kg/dayで適用部皮膚及び消化管の刺激、血糖減少、血中尿素窒素及び血清アルカリ性ホスファターゼ活性増加の報告がある (HPVIS (Access on October 2016))。以上のように、区分2相当の用量で局所刺激性に起因した所見のほか、血液生化学的検査項目の変動がみられているが、分類根拠とするには十分でなく、その他の経路の情報がないことから分類できないとした。

## 吸引性呼吸器有害性

GHS分類: 分類できない データ不足のため分類できない。

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性

LC50 - 魚類 - 2.36 mg/l - 96 h

備考: (ECOTOX データベース)

#### 藻類に対する毒性

EC50 - 藻類 - 0.34 mg/l - 96 h

備考: (ECOTOX データベース)

( $\alpha$ -ヘキシルシンナムアルデヒド)

### 12.2 残留性・分解性

#### 生分解性

結果: - 易分解性。

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壤中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

### 12.6 内分泌かく乱性

データなし

### 12.7 他の有害影響

非該当



オゾン層への有害性

環境への放出は必ず避けなければならない。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

製品

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID（陸上規制）：3082 IMDG（海上規制）：3082 IATA-DGR（航空規制）：3082

### 14.2 国連輸送名

Hexylcinnamaldehyde)

IATA-DGR（航空規制）：Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (α-

Hexylcinnamaldehyde)

IMDG（海上規制）：ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (α-

シルシンナムアルデヒド)

ADR/RID（陸上規制）：ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (α-ヘキ

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID（陸上規制）：9 IMDG（海上規制）：9 IATA-DGR（航空規制）：9

### 14.4 容器等級

ADR/RID（陸上規制）：III IMDG（海上規制）：III IATA-DGR（航空規制）：III

### 14.5 環境危険有害性

該当

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR（航空規制）：該当

### 14.6 特別の安全対策

### 14.7 混触危険物質

5 kg / L 以下で、危険物クラス 9 に該当しないパッケージ

詳細情報

---

## 15. 適用法令

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)

## 消防法

第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA: 国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

LD50: 致死量 50%

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法（化審法）<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）<https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>

[pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?)

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】HSDB - 有害物質データベース、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

### 免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。